

<都賀地域>

■^{かっぱ}河童の^{おんがえ}恩返し

昔、ある人が馬を引いて川を渡ろうとしていた時に子どもが
^{あらわ}現れて「馬に乗せて川を渡らせてくれ」といった。その人は子
どもがちょっとかわっていたので、これは^{かっぱ}河童が子どもに^ば化け
ているものと^{みぬ}見抜き、子どもの言うままに馬の背に乗せてやっ
た。そして落ちないように^{つな}綱でぎっちりと馬の背に^{しば}縛り付けて
川を渡ったという。

渡り終わると、その人は「お前は^{かっぱ}河童だろう。もし、人に悪さ
するなら殺すぞ」とこらしめると、^{かっぱ}河童は「これからは^{いたすら}悪戯はし
ませんからゆるしてください。もし助けてもらえるなら、あなた
に毎日^{あゆ}鮎を二匹ずつ届けます。」と約束した。

翌日その人が家の^{かってば}勝手場に出てみると、^{やくそく}約束どおり二匹の^{あゆ}鮎
が笹の上に置いてあった。